

経営力向上支援事業の進捗状況について

1 要旨・目的

経営力の高い担い手が生産の大部分を占める力強い生産構造への転換を目指し、担い手の経営発展意欲の醸成を図り、企業経営への転換に向けた支援に取り組んでいるこの事業について、進捗状況を報告する。

2 現状・背景

現在、企業経営体の育成に向け、家族経営から常時従事者を受け入れた経営への転換を経て、農場長などの中間管理職を配置する経営、更には、生産・営業・販売等の部門管理体制を整えた組織へと成長させるというプロセスの実現を支援している。

成長過程での経営体の課題は様々であり、担い手が着実にステップアップするためには、各発展段階に応じた支援体制の充実が重要である。

3 概要

(1) ひろしま農業経営者学校

経営発展チャレンジコースと経営発展実践コースについて、今年度新たに就農予定者も対象とした内容に拡充し、就農予定者から企業経営体まで、担い手の経営発展段階に応じて、経営スキルの習得、経営ビジョンの作成などを目的とした講座を6コース実施している。

ア 対象者、事業内容、スケジュール等

コース	対象者・事業内容	定員	スケジュール	開催場所
経営発展 チャレンジ コース	対象：若手経営者及び就農予定者 内容：就農前に準備しておくことや経営者としての心構え、経営理念の重要性を理解し、自身のライフプランを作成する。	60名 (実績48名)	8/10～10/13 (各2日間)	オンライン、 東広島市 及び世羅町
経営発展 実践コース	対象：経営発展チャレンジコース受講者 内容：財務、雇用など経営発展に必要な経営スキルを習得し、経営者としての経営計画を作成する。	10名 (実績8名)	9/22～3/1 (8日間)	オンライン
		20名	10/12～3/14 (各7日間)	東広島市 及び世羅町
課題解決 コース	対象：前年度の経営発展実践コース修了者等 内容：経営計画の実行に必要な課題解決能力を習得する。	前期・後期 計30名 (前期実績9名)	前期 6/6～10/24 後期 11/7～3/12 (各5日間)	オンライン
先進経営 視察コース	対象：企業経営体への発展を志向する経営者 内容：先進経営体での視察研修及び座学を通し、経営指針書を作成する。	夏期3名 (実績2名) 冬期4名	夏期 7/21～9/27 冬期 12/上～ (各7日間)	広島市等 及び現地
ミドルマネジ メントコース	対象：経営体の従業員（農場長クラス） 内容：管理・監督者（農場長）として必要なスキルを習得する。	10名	10/10～2/9 (5日間)	オンライン 及び広島市
トップマネジ メントコース	対象：企業経営体の経営者 内容：さらなる経営発展に向け、マネジメント力の向上を図る。	10名	11/上～ (2日間)	広島市

イ 予算（単県）

34,897千円

(2) アグリ・フードマネジメント講座（農業MBAスクール）

県立広島大学と連携し、持続可能な経営に向けたイノベーションを生み出すため、農業者と消費者をつなぐマーケティングや経営戦略などを考える講座を開催している。

ア 講座内容

ゲスト講師からマーケティング戦略を学んだ上で、新しい商品やサービスのプロデュースを支援している（株）マクアケの協力のもと、農産物等を使った新商品開発を実践することで、消費者等に賛同を得られる事業構想の考え方を習得する。

イ 講座対象者等

経営発展を目指す農業者、アグリ・フードビジネスに関心のある方など

定員：15名（実績8名）

受講料：10万円/人

ウ スケジュール

9月9日（土）～2月17日（土）のうち10日間

エ 予算（単県）

3,578千円

(3) 農業経営・就農サポート推進事業

経営発展意欲のある経営体が抱える経営の法人化や労務管理等の経営課題に対し、専門家と関係機関が連携し、課題解決に向けた支援を実施している。

ア 派遣専門家、支援概要

対象者	派遣専門家	主な支援内容
目標 50 経営体 〔実績 20 経営体〕 R5.9.20 現在	・ 中小企業診断士 ・ 社会保険労務士 ・ 税理士 ・ 司法書士 ・ 製造業での工程管理実務経験者 など	・ 経営診断・改善 ・ 雇用・労務 ・ 財務管理 ・ 法人化 ・ 生産工程管理のマニュアル化 など

イ 予算（一部国庫）

22,068千円

(4) 企業経営実践支援（チーム型支援）

企業経営の実現を目指す経営体に対し、人材育成や予算・実績管理などの重点課題に絞り、その仕組みづくりや効率的な運用に向け、経営コンサルタントの派遣を実施している。

ア 対象者、事業内容、スケジュール等

(ア) 令和5年度新規分

対象者	市町	栽培品目	事業内容	スケジュール
A	尾道市	施設花き	・各経営体において、コンサルタントが代表者や役員、従業員それぞれに対し、経営体の良い点、悪い点、自身の役割等に関するヒアリングを実施。 ・ヒアリング結果をもとに、人材育成や予算・実績管理に係る今後の取組を提案。	4/19～ (12回/経営体)
B	三次市	水稻		
C	庄原市	露地花き		
D	安芸高田市	施設野菜		
E	安芸高田市	露地野菜		
F	江田島市	施設花き		

(イ) 令和4年度継続分

対象者	市町	栽培品目	事業内容	スケジュール
G	広島市	施設野菜	・前年度に引き続き、人材育成等の仕組み導入に取り組み、導入後の運用状況を確認するとともに、導入効果を高めるための助言を実施。	4/10～ (8回/経営体)
H	三原市	水稻、露地野菜		
I	三原市	落葉果樹		
J	三次市	施設野菜		
K	東広島市	水稻、露地野菜		
L	東広島市	酪農等		

イ 予算（単県）

18,583 千円

(5) 電子カルテシステムの運用（経営評価システム）

担い手の着実な経営発展を支援していくためには、経営体の生産・経営データを収集した上で、そのデータを基に優先課題を抽出し、効果的な解決策を提案するとともに、県の支援実績を検証し、施策の見直しを行うことが重要である。

そこで、昨年度、経営課題の見える化や支援施策の効果検証を行う農業版システムを構築し、今年度は、さらに経営体データの収集を進めながら、経営体や関係機関等の意見を聴き、農業版システムをより活用しやすいシステムに改善するのに加え、新たに畜産版システムの構築に向け取り組んでいる。

これまで38経営体の経営評価を行い、データに基づき課題を特定し、ひろしま農業経営者学校や専門家派遣の活用を提案するなどの支援を行っている。

○ 予算（単県）

10,000 千円

【経営力向上支援事業】 経営発展段階に合わせた経営力向上の支援体系

経営者に求められる
能力・取組

・経営発展に向けた意欲の向上
・基本的な経営スキルの習得

・経営発展に必要なスキルの習得
・社員が働きやすい環境の整備

・組織運営の重要性の認識
・社員が能力発揮できる環境の整備
・社員の能力向上の支援

・持続的な経営に向けた体制の整備
・経営戦略の策定能力の向上

V 層

生産・営業・販売等の
分業体制が整備された
企業経営体

IV 層

農場長の育成を進めながら、
規模拡大している
経営体

III 層

常時雇用者を受け入れ、
生産を行う体制が整備された
経営体

I 層

家族労働力を中心に
パート社員を
雇用している経営体
(新規就農者も含む)

